

親の会 だより

第95号

発行日：H30.12.11

発行

岩手県ことばを育む
親の会

会長：主濱 友子

事務局

盛岡市立桜城小学校
きこえとことばの教室内

親子合宿研修会サマーキャンプ in 岩手山

第四十一回岩手県ことばを育む親の会親子合宿研修会「サマーキャンプ in 岩手山」が、岩手山青少年交流の家に県内各地より総勢百七十名の方々が集い、二日間にわたり開催できましたこと心から感謝申し上げます。

サマーキャンプは今年から隔年の開催となりました。今年度は本部が担当することになりましたので、近郊の盛岡・雫石・滝沢・八幡平支部の方々のご協力のもと開催する運びとなりました。これまでの様な合宿研とまではいきませんが、皆さんに満足していただけるよう準備をしました。猛暑が続く中、熱中症など心配されましたがトラブルもなく無事に活動できましたこと、スタッフの皆様のお陰であり感謝申し上げます。

蒸し暑いホールの中で、子ども達も大変だったと思います。そんな中でも立派な姿勢で開会行事を終えることができました。

子ども達は、岩手県教育レクリエーション研究会の室岡先生の指導によるゲームから始まったことで、緊張が解けたのか、ほころんだ顔が拡がりました。ビンゴウォーキングで体をほぐし、友達と打ち解け合い、思いつき自然と触れ合い、楽しく活動する中で思う存分キャンプを満喫できたのではないのでしょうか。ここでの体験はこれからの学校生活等への自信につながるものと思っています。

講演会では、すまいるスマイルコミュニケーション代表 大村洋子氏による講演「できるを信じる子育てのススメ」の中で、時折ご自分の体験を交えながら子どもの未来を応援する親になるためにどうあるべきか「ドリームマ

子どもたちの振り返りより

どんな思い出ができたかな？
・万華鏡がかんせいしてのぞいて見たらきれいだった。
・万華鏡をうまく作れたこと。花みたいだった。
・ビンゴウォーキングが楽しかった。たくさん番号を集めてよかった。
・ビンゴウォーキングでいっぱい走った。
・ビンゴウォーキングの時、看板を見つけてビンゴになった時うれしかった。
・ビンゴウォーキングで特別賞をもらえた。
・お風呂でみんなと大勢で入ったこと。プールみたいだった。
・友達ができてなかよくなってうれしかった。
・友達と一緒に泊まったこと。
・レストランで岩手山を見たこと。
・バイキングで食べたこと。
・話しかけてもらってうれしかった。
・お話し会を静かに聞いたこと。
・朝から掃除をして大変だったけど、きれいにしたのですっきりした。

ップ」を活用したキャリア教育についてお話を伺いました。言葉が私たちの心を作り、その子の心を育む。ダメ出しばかりではなく、考える時間を与えることも大事「どうせ無理」という言葉をなくしましょう。ことばのかけ方次第で、その子の心が変わることの大切さを学ぶことが出来ました。分科会での、親御さん同士での語らいは、日頃の子育ての悩みを、少しでも解消することにつながったのではないのでしょうか。二日目の親子レクは、ゲーム感覚を取り入れながら、親子で思いつき体を動かし、コミュニケーションを取る事ができ、親子の良い思い出となった事と思います。

この岩手山麓の緑豊かな大自然に包まれながら二日間の活動をする中で、「思いやり」の心を育み、サマーキャンプが終わった後も、知り合った親子の交流の輪が広がっていくことを切に希望いたします。 会長 主濱 友子



講演の様子



親子ふれあい体操

《第三十五回幼児期の言語教育研修講座》

八月二十五日(土)に県内の幼稚園・保育園(所)・子ども園の先生や保健師、学校関係者等のための「第三十五回幼児期の言語教育研修講座」を岩手大学で開催しました。参加者は八十六名でした。

講演では「ことばを育む」として、昨年度に引き続き、学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園 園長 坂本信行 氏に、幼稚園・保育園(所)・子ども園の先生のかかわり方についてお話ししていただきました。

講座Aでは、「幼児期のことばの発達」として岩手大学教育学部 特別支援教育科 准教授 池田泰子 先生に、「ことばの発達について詳しくお話ししていただきました。選択講座は三つの課題に分かれて研修し、その講座と講師は、「ことばに関する課題」講師 岩手県立総合教育センター 研修指導主事 平浩一 先生、子どもの特性の理解と支援」講師 奥州市立水沢小学校 教諭 柴山佑美 先生、幼児教室における指導・支援」講師 花巻市教育委員会 幼児ことばの教室 指導員 笹原有美 先生でした。簡単なことばの検査の方法や、発達障がいの子どもの理解、幼児期の心を育てるのかかわり方等についての研修でした。また、現在困っていることや悩み事についての相談にも、講座終了後に応じていただきました。

参加者のニーズが高い研修会であることが伺われました。

参加者の感想より

- ・子どもが安心して言葉を発せられるような心地よいイントネーションが大事であることや、失敗場面も考えるエクササイズの間となることが分かった。
- ・様々な体験により子どもは言葉を身につけていること。生きた言葉になるための大人の関わりの大切さを学ぶことができた。
- ・実際に演習もあり、ことばの発達段階について理解することができた。
- ・具体的な事例があり分かりやすく、すぐに実践できそうなお話でした。また、悩みを話せたり情報交換ができたりによってよかった。



選択講座の様子

NPO法人全国ことばを育む会東北ブロック研修会・代表者会議

東北ブロック内の親の会役員がこの岩手の地に集い(青森県三名、宮城県一名、福島県二名、岩手県内親の会役員と担当の先生方 計五十名出席)、岩手県ことばを育む親の会の共催のもと、研修会と代表者会議が開催されました。

〈研修会〉

各県役員のほか岩手県親の会役員や県内各支部からも親や先生方が参加し研修会を行いました。講師には全難言協元事務局長で東京世田谷区立烏山北小学校の阿部厚仁先生をお招きし「難言教育と親の会」についてご講演をいただきました。子どもたちの気持ちに寄り添いながら、親や先生がどのように関わっていけばよいのか、指導していけばよいのかを、多くの実践事例や経験を通して分かりやすくお話ししていただきました。

〈代表者会議〉

菊池義勝顧問をはじめ、主濱ブロック長、青森県一名・宮城県一名・福島県二名・岩手県事務局ら四名の各県代表者十名が出席、平成二十九年事業・決算報告のあと、各県から教室設置状況や現状と課題の報告を行い、指導体制や親の会活動、ブロック会議の持ち方等について意見交換を行いました。

県親の会からのインフォメーション

◎ 今年度は、県内八つのブロックに分かれてブロック研修会を行いました。研修の内容や話題等につきましては、次回の「親の会だより」に掲載いたします。

◎ 平成三十年度やまびこ会(岩手県難聴者の会)

・平成三十年十二月二十二日(土) 十四時～十六時 学習会&交流会

(アイーナ 五階 五〇一会議室) 十七時～懇親会

◎ 第十七回すっぴんの会(吃音のある子と保護者の交流会)

・平成三十一年一月二十六日(土) 九時五十分～十二時

(アイーナ 六階 世代間交流室) ※お問い合わせは各教室まで



講師の阿部厚仁先生